



# 標準ベルトサイズ

## ベルトの種類と断面寸法

図1-1

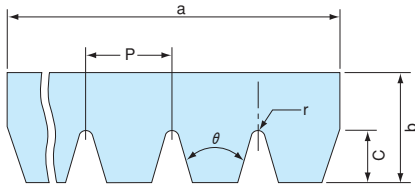


表1-1 ベルト断面寸法表

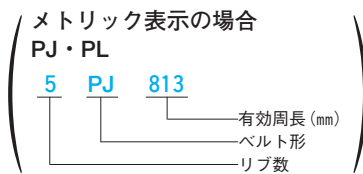
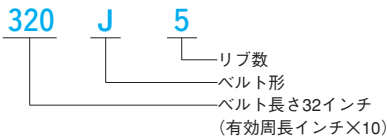
(単位: mm)

ベルト形	記号	a	b	c	r	$\theta$ (°)	P
J		$2.34 \times nr^{(1)}$	3.8	1.5	0.24以下	40	$2.34 \pm 0.05$
PK		$3.56 \times nr^{(1)}$	5.0	2.7	0.24以下	40	$3.56 \pm 0.05$
L		$4.70 \times nr^{(1)}$	7.5	3.5	0.30以下	40	$4.70 \pm 0.10$

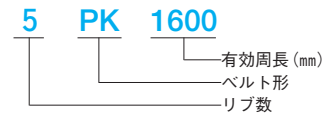
注(1) nrはリブ数です。

## ベルトの表示

J・L



PK



## ベルトの長さ測定方法

- ベルトの長さは、(3)項に示す長さ測定方法により2個の長さ測定用プーリの有効径(有効外径)を通る有効周長さで表わします。
- 標準ベルトサイズを表1-3(7ページ)に、長さ許容差を表1-4(8ページ)に示します。
- ベルトの長さ測定方法  
ベルトの長さは、図1-2(検尺機)・図1-3(検尺機用プーリ)を用いて測定します。  
測定方法は、図1-3に示す2個の測定用プーリにベルトを掛け、これに表1-2に示す規定の荷重を加え、ベルトを少なくとも2回以上まわして所定の張りとえ、プーリの軸間距離を測定、次の式によって、ベルトの長さを算出します。

表1-2 検尺プーリ諸元

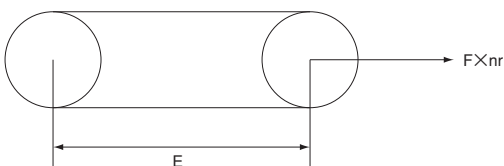
	ベルト形 記号	J (PJ)		PK (K)	L (PL)
		リブ溝ピッチ	e (mm)		2.34±0.03
プーリ端部に最も近い溝中心からプーリ端部までの距離	f (mm)	Min. 1.8		Min. 2.5	Min. 3.3
リブ溝角度	$\alpha$ (度)	40±0.25		40±0.25	40±0.25
測定用ボールまたはロッドの直径	dB (mm)	1.50±0.01		2.50±0.01	3.50±0.01
リブ先丸み部の半径	rt (mm)	Min. 0.2		Min. 0.25	Min. 0.4
リブ底丸み部の半径	rb (mm)	0.20 (Max. 0.40)		0.30 (Max. 0.50)	0.25 (Max. 0.40)
オーバーボール径(直径)	K <sup>1)</sup> (mm)	95.72±0.10	32.06±0.10	96.48±0.10	161.51±0.10
		95.49±0.10	31.83±0.10		
プーリ有効直径	de (mm)	95.49±0.10		31.83±0.10	95.49±0.10
測定するプーリの有効周長の基準値	Ue (mm)	300	100	300	500
1リブ当たりの荷重	F (N/リブ)	50		100	200

1) J形のK 32.06 mm は、サイズ呼称が200J以下のものに適用します。

$$Le = E_{max} + E_{min} + Ue$$

ここで、Le: 有効ベルト長さ (mm)  
E<sub>max</sub>: 最大軸間距離 (mm)  
E<sub>min</sub>: 最小軸間距離 (mm)  
Ue: 測定するプーリの有効周長の基準値 (mm)

図1-2



ここで、E: 軸間距離 (mm)  
F: 1リブ当たりの荷重 (N/リブ)  
nr: ベルトのリブ数

図1-3

